

## 「学ぶ姿勢が大事です」

桃花水暖かにして 軽舟を送る  
背指す弧鴻 没せんと欲する頭ほとり

厳しかった冬が過ぎ、ようやく春を迎える季節になりましたが、皆さまいかがお過ごしのことでしょうか。

本会においては2月に開催した吟道大学を終え、3月東明未来塾の閉講でもって令和6年度の本部行事は終了となります。その間、いくつかの地区においては吟詠普及推進大会が進められており、それぞれの大会をきっかけに、各地区において新入会員・再入会員への呼び水になればと期待しているところです。

東明未来塾は10年間新指導者養成講座として、ひとつの節目を終え、令和7年度は今後の方向性を検討いただく一年になればと思っている次第です。

ところで、会員の平均年齢が高くなっています。もともと吟界全体も同様な傾向にあります。概して高齢者は思い込みが強いだけでなく、失敗すると自信を失うことも多いようです。体力的な問題に加え、声が出なくなった、うまく詠えないなどの理由が退会のきっかけになっているようです。



総本部長 古田 哲壮

どうしたら退会防止や新入会につながれるかですが、前に新聞で読んだのですが、人間の最も重要な能力はしつこく、あきらめないことらしい。動物はできなかったらあきらめるとのこと。ゴリラの研究で知られる先生がおっしゃっていました。今、吟界は会員が増えない厳しい状況ですが、このあきらめない性質をもって、粘り強く、指導者の先生が「一緒にやりましょう」「大丈夫です。」など声かけをしてあげてください。また、高齢者ばかりでなく、若い人の感覚も聞きましょう。なかなか接することは少ないのですが、テレビなどをみるとコロナ以後、音楽ツアーは盛んになっているようです。本会も過去に大阪城ホールに1万人集まった記念大会もあり、昨年は全国青年部大会を開催しました。青年部の皆さんは練習や大会準備に際し、いろんな工夫をこらし効率的にやられていました。こうした若い人の話も聞くなど学ぶ姿勢も大事かと思えます。

令和7年度に入り、大阪・関西万博もスタートしました。少し華やかな気分をいただき、教室の仲間とともに楽しい詩吟生活を送れることを願っています。